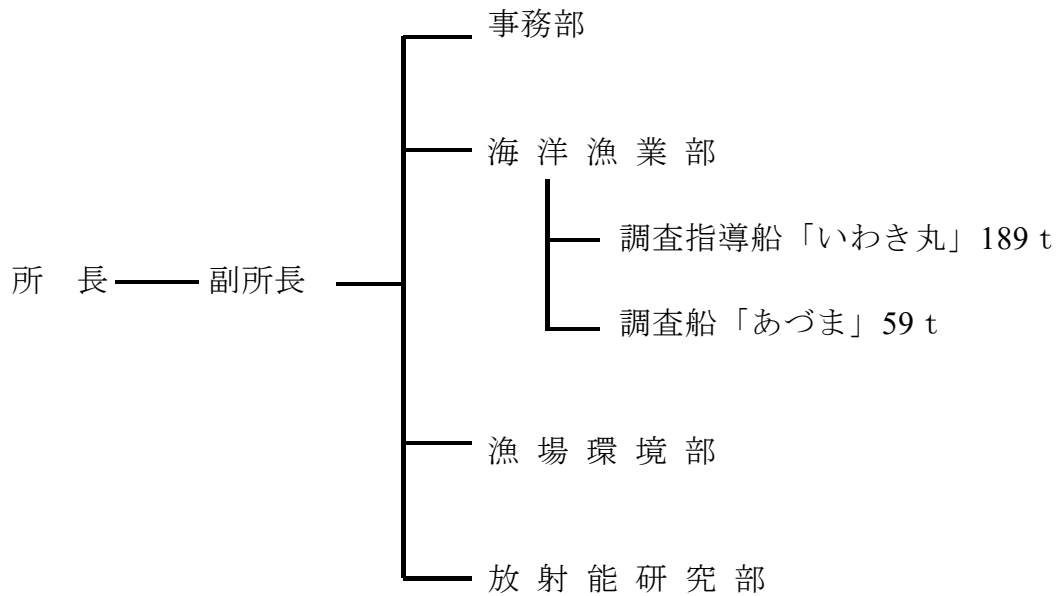


I 庶務一般

1 組織・機構

水産海洋研究センター (R4.3.31)



所在地等 〒970-0316 福島県いわき市小名浜下神白字松下13番地の2
電話 0246-54-3151～3 F A X 0246-54-9099
E-mail kaiyoken@pref.fukushima.lg.jp
ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37380b/>

2 令和3年度事業別予算(千円)

款	総務費	659
項	総務管理費	123
目	一般管理費	145
目	人事管理費	536
款	衛生費	6,932
項	環境保全費	6,932
目	原子力安全対策費	6,932
款	農林水産業費	263,792
項	農業費	10,016
目	農業総務費	10,016

項	水産業費	253,776
目	水産業総務費	89
目	水産業振興費	11,295
目	漁業調整費	12,017
目	水産海洋研究センター費	124,090
目	漁業調査指導費	106,285
合	計	271,383

II 令和3年度の刊行物

- 1 令和2年度事業概要報告書（水産海洋研究センターホームページに掲載）
- 2 福島県水産海洋研究センター研究報告第1号（水産海洋研究センターホームページに掲載）

III 研究成果検討会・外部発表・一般公開等

1 研究結果検討会等

(1) 水産関係試験研究機関普及に移しうる成果等検討会

開催日時 令和4年1月19～20日

開催場所 水産海洋研究センターセミナールーム

開催経過 令和3年度の「普及に移しうる成果」3課題、「放射線関連支援技術情報」3課題、「参考となる成果」5課題を福島県農林水産技術会議評価部会に提出した。

成果課題名	区分	担当者
・ヤリイカの透明感を維持する条件	普及成果	富谷敦ほか
・ウニ口器中間骨の輪紋を利用した福島県沿岸でのキタムラサキウニ年齢構成の把握	普及成果	藤田恒雄
・キタムラサキウニの年齢と実(生殖腺)の色の関係	普及成果	藤田恒雄ほか
・メバル属魚類2種における ¹³⁷ Cs濃度と年級構造との関係	放射線関連	天野洋典ほか
・松川浦及びその流入河川の堆積物の ¹³⁷ Cs濃度について	放射線関連	渡部翔ほか
・海底土の ¹³⁷ Csが消化器官を介して魚類筋肉に及ぼす影響	放射線関連	榎本昌宏ほか
・いわき地区でのアカムツの漁獲状況	参考成果	安倍裕喜ほか
・底曳調査における新規定点での魚種組成の特徴	参考成果	岩崎高資ほか
・サンマの豊漁年と不漁年の操業位置変化	参考成果	原聡太郎ほか
・勾配ブースティング決定木によるシラス漁況予測	参考成果	金子直道ほか
・福島県沖におけるタチウオ再生産の可能性	参考成果	安倍裕喜ほか

(2) 水産海洋研究センター研究成果報告会

新型コロナウイルス感染症対策のため未開催

2 シンポジウム等における課題発表

(1) 課題発表

※H30年度：4、R1年度：1、R2年度：5

シンポジウム等の名称	発表課題名	発表者	年月日	開催地
日本海洋学会秋季大会	福島県沿岸域および松川浦における事故後9年間の堆積物中の ¹³⁷ Cs濃度の推移	鈴木翔太郎・守岡良晃・松本陽・天野洋典・榎本昌宏・神山享一	R3. 9. 13	東京大学大気海洋研究所（オンライン）
日本水産学会秋季大会	2019年10月に発生した台風19号による飼育海水の ¹³⁷ Cs濃度の上昇が及ぼしたヒラメ飼育魚への影響	天野洋典・鈴木翔太郎・神山享一・帰山秀樹・高田兵衛・和田敏裕	R3. 9. 15	北海道大学函館館キャンパス（要旨提出により発表とみなされたもの）
福島大学環境放射能研究所 国際シンポジウム「原発事故から10年後の福島の森・川・海と食～復興に向けて残された課題～」	Shift change of decreasing radiocesium trend in demersal fishes off Fukushima	AMANO Yosuke, SUZUKI Shotaro, SAKAMOTO Kei, MATSUMOTO Akira, IWASAKI Takashi, MORIOKA Yoshiaki, KAMIYAMA Kyoichi, TAKATA Hyoe, WADAI Toshihiro	R3. 10. 11	福島県福島市
福島大学環境放射能研究所 国際シンポジウム「原発事故から10年後の福島の森・川・海と食～復興に向けて残された課題～」	Contribution of particulate ¹³⁷ Cs from rivers to coastal sediment ¹³⁷ Cs concentrations off Fukushima	Shotaro Suzuki, Kazuyuki Sakuma, Tadahiko Tsuruta, Akira Matsumoto, Yosuke Amano, Masahiro Enomoto, Yoshiaki Morioka, Kyoichi Kamiyama, Hyoe Takata	R3. 10. 11	福島県福島市

令和3年度東北ブロック水産海洋連絡会	福島県海域における定地水温推移と沿岸観測定点における水温推移の比較	原聡太郎	R3. 11. 25	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所 塩釜庁舎 会議室
令和3年度東北底魚研究連絡会議	福島県沖におけるタチウオ再生産の可能性	岩崎高資、安倍裕喜	R4. 3. 8	青森県八戸市

(2) 投稿論文

※H30年度：1、R1年度：1、R2年度：7

投稿先	論文課題名	投稿者	印刷月
Science of the Total Environment	Factors controlling dissolved ^{137}Cs activities in coastal waters on the eastern and western sides of Honshu, Japan	Hyo Takata, Toshihiro Wada, Tatsuo Aono, Mutsuo Inoue, Tsutomu Kanashi, Shotaro Suzuki, Yosuke Amano	R3. 2
Springer	Cesium Radioactivity in Marine and Freshwater Products and Its Relation to the Restoration of Fisheries in Fukushima: A Decade Review	Toshihiro Wada, Yoshiharu Nemoto, Tsuneo Fujita, Gyo Kawata, Kyoichi Kamiyama, Tadahiro Sohtome, Kaoru Narita, Masato Watanabe, Shinya Shimamura, Masahiro Enomoto, Shotaro Suzuki, Yosuke Amano, Daigo Morishita, Akira Matsumoto, Yoshiaki Morioka, Atsushi Tomiya, Toshiyuki Sato, Kouji Niizeki, Takashi Iwasaki, Michio Sato, Takuji Mizuno, Kenji Nanba	R4. 3
東北ブロック水産海洋連絡会報第52号	福島県海域における定地水温推移と沿岸観測定点における水温推移の比較	原聡太郎	R4. 3
東北底魚研究第41号	福島県沖におけるタチウオ再生産の可能性	岩崎高資、安倍裕喜	R4. 3

3 漁業者等研修会の実施状況

※H30 年度：2、R1 年度：1、R2 年度：2

年月日	研修・会議等の名称	研修内容	対象者・人数	備考
R3.6.8	青年漁業士講座	海産魚介類のモニタリング検査	漁業士候補 2名	水産資源研究所

4 県民への研修会等の実施状況

※H30 年度：30、R1 年度：32、R2 年度：10

年月日	研修・会議の名称	研修・会議内容	対象者・人数	備考
R3.4.23	いわき市立藤間中学校見学	公開講座「水産海洋研究センターとは?」、「福島県の漁業と魚介類の安全・安心」	37名	
R3.6.7	イオン福島鮮魚便販売員研修会	福島県の水産物の安全・安心について	50名	オンライン
R3.7.2	只見町立朝日小学校見学	公開講座「ふくしまの豊かな海を知ろう」	14名	
R3.7.6	いわき市立小名浜第三小学校見学	公開講座「水産海洋研究センターとは?」、「福島県の豊かな海を知ろう」	71名	
R3.9.15	福島県立いわき総合高校	出前講座「ふくしまの豊かな海を知ろう」	20名	
R3.10.1	いわき市立高久小学校見学	公開講座「福島県の豊かな海を知ろう」、「アワビやサケの年齢を調べよう!」	29名	
R3.10.1	いわき市立入遠野小学校見学	公開講座「水産海洋研究センターとは?」、「福島県の豊かな海を知ろう」	11名	
R3.10.9	いわき市立菊田小学校見学	公開講座「水産海洋研究センターとは?」、「福島県の豊かな海を知ろう」、「アワビやサケの年齢を調べよう」	73名	
R3.11.2	いわき市立好間第二小学校見学	公開講座「福島県の豊かな海を知ろう」、「アワビやサケの年齢を調べよう!」	30名	
R3.11.2	外国メディア向け福島プレスツアー	福島県の水産物の安全・安心について	6名	
R3.11.6	在日中国留学生による産地オン	福島県の水産物の安全・安心について	21名	

	ラインツアー			
R3. 11. 9	いわき市立藤原小学校	公開講座「ふくしまの豊かな海を知ろう」、「水産海洋研究センターとは？」	27名	
R3. 11. 12	福島県立湯本高等学校	公開講座「福島県の水産物の安全・安心について」	24名	
R3. 11. 26	いわき市立長倉小学校	公開講座「アワビやサケの年齢を調べよう」	25名	
R3. 12. 4	福岡県生活協同組合連合会スタディツアー	福島県の水産物の安全・安心について	10名	
R3. 12. 6	在日ベトナム人インフルエンサー招集事業	公開講座「福島県の水産物の安全・安心について」	10名	
R4. 1. 29	首都圏等消費者交流事業オンラインツアー	福島県の水産物の安全・安心について	20名	オンライン
R4. 2. 5	首都圏等消費者交流事業オンラインツアー	福島県の水産物の安全・安心について	20名	オンライン
R4. 2. 15	首都圏等消費者交流事業オンラインツアー	福島県の水産物の安全・安心について	20名	オンライン

5 緊急時モニタリング調査関係報告会

※H30年度：41、R1年度：36、R2年度：27

年月日	会議の名称	会議内容	対象者・人数	備考
R3. 4. 27	県下漁業協同組合長会	モニタリング結果報告	漁業者代表等 46名	福島県水産会館
R3. 5. 31	県下漁業協同組合長会長会	モニタリング結果報告	漁業者代表等 48名	福島県水産会館
R3. 6. 28	県下漁業協同組合長会	モニタリング結果報告	漁業者代表等 53名	福島県水産会館
R3. 7. 30	県下漁業協同組合長会長会	モニタリング結果報告	漁業者代表等 47名	福島県水産会館
R3. 8. 27	県下漁業協同組合長会	モニタリング結果報告	漁業者代表等 45名	福島県水産会館
R3. 9. 28	福島県地域漁業復興協議会	モニタリング結果報告	国・県・団体・有識者 47名	福島県水産会館

R3. 9. 30	県下漁業協同組合長会	モニタリング結果報告	漁業者代表等 45名	福島県水産会館
R3. 10. 28	県下漁業協同組合長会	モニタリング結果報告	漁業者代表等 55名	福島県水産会館
R3. 11. 30	県下漁業協同組合長会	モニタリング結果報告	漁業者代表等 52名	福島県水産会館
R3. 12. 21	福島県地域漁業復興協議会	モニタリング結果報告	国・県・団体・有識者 46名	福島県水産会館
R3. 12. 28	県下漁業協同組合長会	モニタリング結果報告	漁業者代表等 51名	福島県水産会館
R4. 1. 27	福島県漁協組合長会	モニタリング結果報告	漁業者代表等 48名	福島県水産会館
R4. 2. 22	福島県地域漁業復興協議会	モニタリング結果報告	国・県・団体・有識者 50名	福島県水産会館
R4. 2. 28	県下漁業協同組合長会	モニタリング結果報告	漁業者代表等 50名	福島県水産会館
R4. 3. 29	県下漁業協同組合長会	モニタリング結果報告	漁業者代表等 50名	福島県水産会館

6 一般公開

(1) 月別見学者数(公開講座分)

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
小学生				85			113	82					280
中学生	37												37
一般									10				10
合計	37	0	0	85	0	0	113	82	10	0	0	0	327

(2) 水産海洋研究センター参観デー(福島県豊かな海づくり大会)開催状況

新型コロナウイルス感染症対策のため未開催

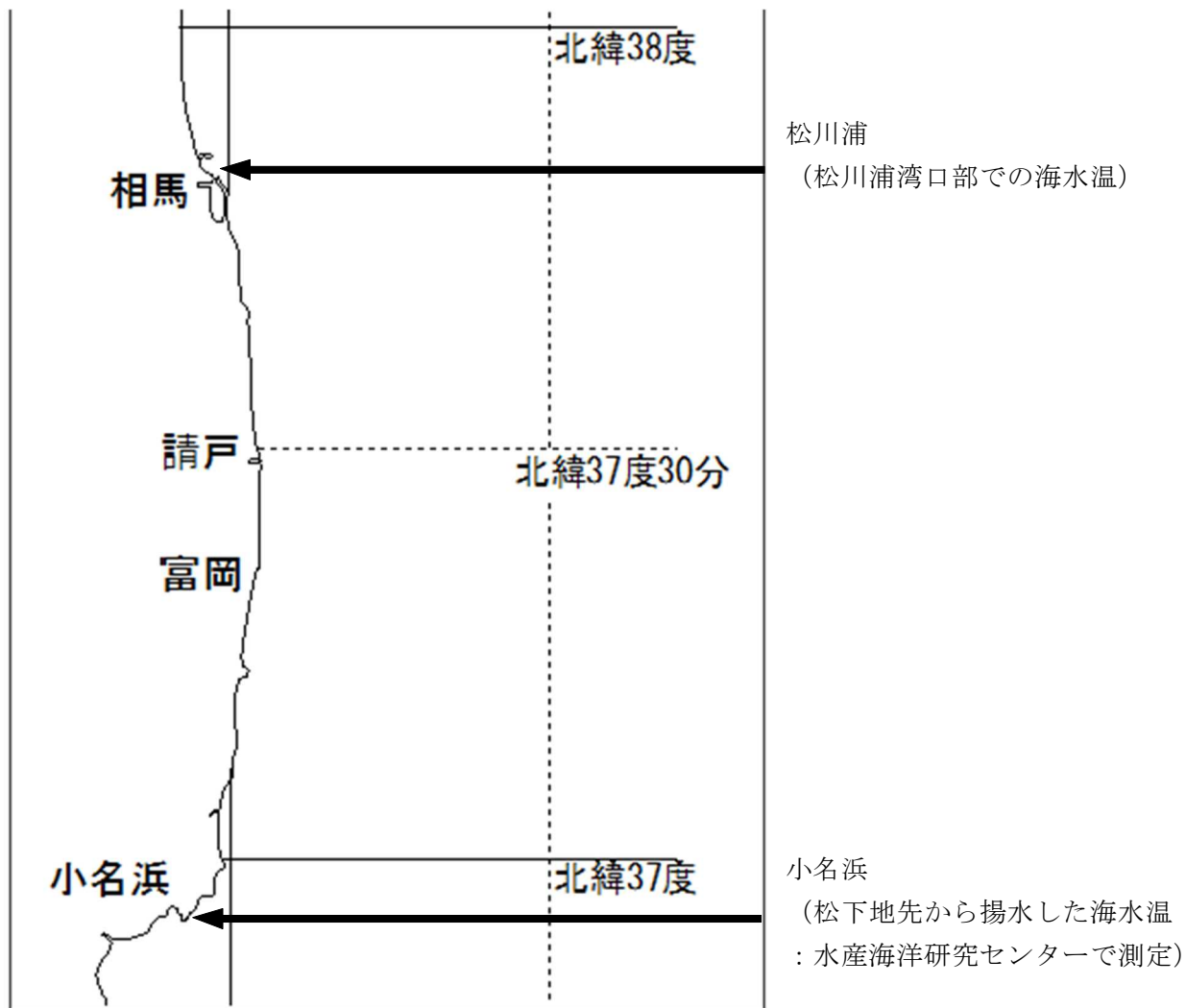
(3) 水産海洋研究センターホームページによる情報公開

下記情報については、過去のデータが pdf 形式で閲覧可能であるとともにダウンロードが可能

ア 漁海況速報：原則、毎週金曜日に発行とホームページ公表

イ 月別水温情報：30 海里、50 海里内の平均水温を毎月 1 回ホームページで公表

ウ 定地水温情報：松川浦（相馬市尾浜）、小名浜（いわき市小名浜）の 2 定地で観測時刻が松川浦 9:00、小名浜 10:00 の測定水温をホームページで公表



IV 職員名簿

所属	職名、氏名	職名、氏名
	所長 齋藤 健	副所長 川田 暁
事務部	事務長 鈴木 聡 主査 佐藤良子	主査 吉田治久
海洋漁業部	部長（兼務） 川田 暁 主任研究員 岩崎高資 研究員 原聡太郎	主任研究員 池川正人 研究員 安倍裕喜 専門員 佐藤美智男
調査指導船 いわき丸	船長 伊藤勝彦 通信長 鈴木正剛 主査（兼）一等航海士 藤健太郎 主査（兼）一等航海士 圓谷 啓 副主査（兼）二等航海士 重軒崇志 技師（兼）二等機関士 鈴木柊祐 専門員 黒川義彦	機関長 奥藤 賢 主査（兼）一等航海士 須賀浩司 主査（兼）一等航海士 佐藤笑子 主査（兼）一等機関士 福林 悠 副主査（兼）二等航海士 高木悠剛 技師（兼）二等機関士 宍戸竣哉 主任技能員 新田勝己
漁場環境部	部長 廣瀬 充 研究員 金子直道	主任研究員 富谷 敦 専門員 藤田恒雄
放射能研究 部	部長 渡辺 透 副主任研究員 天野洋典 専門員 鈴木俊二	主任研究員 榎本昌宏 研究員 渡部 翔

令和4年3月31日現在